

令和4年第5回大山町議会定例会一般質問

令和4年6月15日・16日

通告順	議席番号	氏名	質問事項
1	11	杉谷 洋一	1. 人気スポットの仁王堂公園のリニューアルについて
2	9	大杖 正彦	1. スポーツ振興で健康で元気な町に
3	5	森本 貴之	1. 持続発展的な暮らしやすいまちづくりについて
4	6	池田 幸恵	1. 空き家登録の状況は 2. スクールバス運行について
5	7	門脇 輝明	1. アフターコロナのインバウンド対応について 2. 学習指導要領に示されている「生きる力」の学習について
6	10	大森 正治	1. ごみ処理の基本的なあり方を問う 2. 通学定期券補助の拡充を
7	2	西本 憲人	1. 空き家の問題は解決するのか
8	13	吉原 美智恵	1. 大山町の防災対策は
9	12	近藤 大介	1. 芝の生産振興について 2. 海水浴環境の整備について 3. 窓口業務のあり方について
10	4	島田 一恵	1. 婚活支援について
11	3	豊 哲也	1. 有機農地の先進的な取り組みについて 2. 本町の食糧不足など災害への備えは
12	14	岡田 聡	1. 小・中学校教育の向上は 2. 高齢者福祉の一層の向上や支援の拡充を
13	8	大原 広巳	1. 防災対策について 2. 燃料高・肥料高について
14	1	小谷 英介	1. 海の拠点整備について 2. 観光施策の実証実験のやり方について

令和4年5月25日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 11番 大山町議会議員 杉谷 洋一

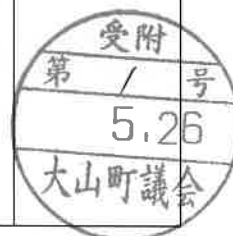


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 人気スポットの仁王堂公園のリニューアルについて</p> <p>素晴らしい眺望の仁王堂公園は、県西部では弓ヶ浜公園と同様、人気スポットであり、自然を愛し未来に羽ばたく 「身長 8.88mの巨大な大山カラス天狗の像」をシンボルとし、南側は主峰大山と甲ヶ山など、東大山の山並み、北側は国引き神話の島根半島や隠岐の島など、360度の自然が見渡せる大パノラマの新名所として定着している。</p> <p>園内は、小さな子どもたちが安心して遊べる、親子の触れ合いの場として、幼児や保育園、小学校の低学年などチビっ子に人気の自由広場や遊具もあり、休日には町内を始め米子市など近郊地域から、多くの家族連れの憩いの場として、また、保育園・幼稚園・小学校の遠足で観光バスも入るなど駐車場が満杯となるほど賑わっている。</p> <p>芝生広場はグランドゴルフの各種大会を初め、沢山の愛好者が利用し、健康増進や出会いの場としての町民の楽しい憩いの広場でもあり、展望広場は桜の花見で大変賑わっている。また、入口付近などでは、仁王堂公園応援サークルが定期的に農水産物の販売・音楽コンサート・星空観察など、四季に併せたイベントを開催し盛況であり、地域の活性化に貢献している。</p> <p>さらに、「とっとり自転車の旅」として、中国地方最高峰の大山に駆け上がる海・里・山での「シートゥーサミット皆生・大山ルート」、下り一直線の緑風と爽快な「大山山麓大山口ダウンヒルルート」、鳥の名の「七鳥橋ロード」と荒々しい大山北壁を楽しむ「大山山麓満喫サイクリングルート」などのサイクリングコースの休憩場所など、さまざまな形で仁王堂公園は利用されている。</p> <p>仁王堂公園は、旧大山町が1億円創生事業で県と町とで公園として、遊具は小学生のアンケートの調査結果に基づき平成7年に整備され、2年後には大山一円の守護神である大山カラス天狗が設置されたが、整備から27年も経ち、古くなり「大山カラス天狗像」の塗装が色褪せ、看板や植物名の表示が喪失するなど、維持管理がされていないが、それでも多くの人で賑わっている。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>米子市を含めた近郊地域からの家族連れなど、利用者増による駐車場の拡大やサイクリングロードとして、駐車場隣接に屋根付き休憩場所とトイレ設置など、将来を見据えた対策が求められ、さらに地元の「憩いの場」として、また日本遺産、国立公園満喫プロジェクトに指定され、その「大山の旅」の玄関口の休憩地として、さらなる施設のリニューアルが必要と考えるが、町長の見解を伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公園の定期的な維持管理は 2. 塗装が色褪せた「カラス天狗の像」の塗り替え及び遊具の点検や使用方法の解説は 3. 新しい用具として小学校高学年用のザイルクライミングの設置は 4. 休日満杯に対する駐車場の拡張増設は 5. サイクリングロードとしてトイレ付休憩施設の設置は 6. 展望台の看板が古くなり読めないので更新は 7. 喪失した樹木名表示プレートの設置は 8. 園内を周遊するため日本海側に第二展望の設置は 9. 美しい東側の大山の朝日と西側の島根半島に沈む夕陽をPRしては 10. トイレ北側にある古墳の整備は 11. 公園の入場者数の把握は 12. 仁王堂公園の観光ルートとしての位置づけは 	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 4年 5月 26日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 9 番

大杖 正彦



一般質問 通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1) スポーツ振興で健康で元気な町に</p> <p>大山町は農業始めとする第一次産業と観光の町だと考えます。しかし、少子高齢化の人口減、それも生産者年代の低下が著しいのが現状です。より高齢化が進むと農業従事者は減少し生産量も低下するでしょう、出来るだけ落ち幅を少なくするには、効率化を高めるスマート農業化と働き続けることができる健康寿命(体力)が必要だと考えます。</p> <p>健康寿命を延ばすには、運動・食事・生きがい等が重要と言われています。ここではスポーツを通じた健康づくりを考えます。</p> <p>大山町にはスポーツ推進計画がなく、総合計画に「いつまでもスポーツを楽しむ人を増やそう」、実現のために</p> <p>① スポーツを楽しめる環境をつくる ② スポーツを盛り上げる人や組織団体の活動をサポートする ③ スポーツ施設をより使いやすくする。 とあるだけです。</p> <p>住民へのアンケートを実施しスポーツ、健康意識調査を実施し、それぞれの有識者を集めてスポーツ審議会を設置し大山町にふさわしいスポーツ推進計画を策定すべきと思います。</p> <p>質問</p> <p>① スポーツ行政を首長部局に移し、各課を横断的に連携させスポーツ振興を図るために住民へのスポーツ、健康のアンケート実施し、その基礎データをもとに住民ニーズに合った「10年大山町スポーツ推進計画」の策定と新しいスポーツ審議会条例の策定をしないか。 基礎データをもとに、委員をどのような分野から選ぶかが重要で、有識者とか学識経験者などのあいまいな表現を避け、アンケートから見える課題解決が出来る委員を選ぶことが大きなテーマである。</p> <p>② 健康寿命を延ばすための高齢者スポーツ教室や健康講座を社協が中心に行っている「いきいきサロン」などを活用して、総合型地域スポーツクラブ(小・中・高・一般)の設立を促し、健康づくり、仲間づくりなど地域コミュニティーの確立を図らないか。</p> <p>③ 観光地でのWifi利用やガイド役で観光施設、名所の案内・説明を可能とすることが大切と思う。 キャンプ、登山、自転車、ウォークなど大山の自然・史跡を活かした野外アクティビティスポーツを総合型地域スポーツクラブ内で実施して、観光とスポーツの連携をはからないか。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 5番 大山町議会議員 森本 貴之



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 持続発展的な暮らしやすいまちづくりについて</p> <p>近年、需要の高まっている宅地や賃貸住宅の安定的な供給を図ることは本町の進める人口減少対策にとって重要なテーマではないでしょうか。旧町単位に分譲できる宅地を今後どのように整備していくのか。また、PFI手法による賃貸住宅の供給強化も計画が動き出しているなかで、今後、どのような開発が行われていくのか町民の方も関心事であります。生活環境において、買い物や医療、移動手段となる公共交通等、様々なインフラをどう結び、暮らしやすさを実現させていくのかも重要な課題です。</p> <p>多くの課題があるなか、如何に暮らしやすいまちづくりを実現していくのか町長に質問致します。</p> <p>① 旧町単位に分譲できる宅地や賃貸住宅の供給強化を計画的に進める必要があるのではないかと。例えば、本町における宅地及び賃貸住宅等開発事業計画といったものを具体的に策定するべきではないかと。</p> <p>② 現在、大山口駅周辺は、学校、公共施設、交通インフラ等が集中しており、好立地な条件であり、住宅も増え続けている。今後、全町にわたって暮らしやすいまちづくりを実現させるには、PFI手法の更なる推進は重要な役割を担うのではないかと。地域ごとに最適な手法を選択するためのプロジェクトチーム等を役場内で立ち上げる等、具体的な動きはあるかと。</p> <p>③ 開発を計画する地域周辺の農地をはじめ、基幹産業である農業も守っていかなくてはならない。町内で畦草刈りの騒音や耕運時の粉塵等、苦情発生は起きていないかと。また、そのような苦情が寄せられた場合、どのように対応するか。役場内の体制はどのようになっているかと。</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする

令和 4 年 5 月 30 日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 6 番 大山町議会議員


池田 幸恵

**一 般 質 問 通 告 書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 空き家登録の現状は</p> <p>広報などに『空き家を活かしませんか?』と、毎号空き家活用通信が掲載されている。6月号においては人が住まなくなった家をそのままにしておくところりうる問題も記されている。そこで以下のことを問う。</p> <p>① 空き家バンクの登録数の推移は令和元年の20件をピークに微増減傾向である。また、空き家バンクを活用しての移住をした世帯はバンク登録数に比例の数値は見られないが、延べ何世帯が転入し転出したのか。</p> <p>② 以前はあった移住希望者が来町時に利用できる補助が、現在はないとのことだが、いつどのような経緯で補助がなくなったのか。 その理由と代替補助や新設補助の考えはあるのか。</p> <p>③ 空き家登録の現状と登録に至らない理由は、相続未手続や親族間合意が得られない・成年後見人制度の未活用・所有者意向などとのことだが具体的な対応策は考えているのか。</p> <p>2. スクールバス運行について</p> <p>通学する児童生徒によって毎年コースも変わり、始業時間や台数など制限のある中で決められるスクールバスの運行について、以下のことを問う。</p> <p>① スクールバスを利用できる児童、生徒の範囲は教育長が定めるとのことだが、運行経路は毎年どのようにして決められ、またどのようなメンバーから意見が出されて決められているのか。</p> <p>② 急遽バスが来ない時、急遽バスを利用できない時などの連絡手段は。</p> <p>③ 保護者からの安全点検による危険箇所チェックは運行経路・バス降車後の経路に反映されているのか。</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p> 

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年5月31日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 7番 大山町議会議員 門脇輝明



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1 アフターコロナのインバウンド対応について</p> <p>コロナの水際対策が緩和される中での日米の金融政策の違いから円安状態となっており、外国人観光客が来日しやすい社会情勢となっている。また、2025年には大阪万博の開催が予定され、多くの外国人観光客を迎えることが期待されており、本町の関連事業者も待望しているところである。</p> <p>観光振興は本町の大きな柱の一つであることから、インバウンドの大波が予想される今、来日観光客の受け皿としての本町の体制を確認しておきたい。</p> <p>① 本町の観光振興のために、インバウンド需要を積極的に取り込む考えはあるか。</p> <p>② どの国、どの地域、どの年代層など具体的にターゲットを絞って招致活動をするのか。しないのか。</p> <p>③ ターゲットとする外国人観光客のニーズはリサーチしたのか。するのか。しないのか。リサーチの結果は。</p> <p>④ 外国人観光客のニーズに対してアピールする大山町の魅力を、具体的かつ十分に提示できているか。</p> <p>⑤ 本町の魅力を体感してもらえる具体的なメニューは作成されているのか。</p> <p>⑥ メニューを実施するために必要な、事業者の体制、施設、設備、運用手段等の整備は進んでいるか。タイムスケジュール及び進行状況の把握は誰が行うのか。</p> <p>⑦ インバウンドが町内に及ぼす経済効果の目標は決めているか。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質問事項と要旨	質問の相手
<p>2 学習指導要領に示されている「生きる力」の学習について</p> <p>新学習指導要領では、「生きる力」を「知・徳・体のバランスがとれた力」と定義している。</p> <p>これは、1996年に文部省（現在の文部科学省）の中央教育審議会（中教審）が「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」という諮問に対する第1次答申の中で、『我々はこれからの子供たちに必要となるのは、いかに社会が変化しようと、<u>自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など自己教育力であり、また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性であると考えた。たくましく生きるための健康や体力が不可欠であることは言うまでもない。我々は、こうした資質や能力を、変化の激しいこれからの社会を、[生きる力]と称することとし、知、徳、体、これらをバランスよくはぐくんでいくことが重要であると考えた。』と述べたことから、教育の新たな目的の一つとして上げられるようになったものである。</u></p> <p>2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災もそうだったが、ロシアによるウクライナ侵略は、「生きる力」についても多くのことを考えさせられる機会となった。平穏な日々の暮らしが、2月24日武力という大きな力によって突然奪われたウクライナの人々は、どのように考え行動しているのか。ある人は対抗して戦い、ある人は家や地域に留まり、ある人は避難し、ある人は侵略者に従って命を守っている。いずれにしても当事者の心情に思いをいたすと心が痛むところである。「生きる」という意味では、どの選択が良い或いは悪いということはできない。ただ、一人の人にとっては、選択を迫られた場面において、周囲の考えに安易に追随せず、懸命になって「自ら考え、主体的に判断し、行動」したという自覚があれば、その結果が人生において大きな悔いとなることは少ないであろうと考える。</p> <p>本町に暮らす子どもたちも、近い将来に進学、就職そして結婚など様々な選択に直面することになる。そこで、悔いのない選択ができるよう次の2点について伺います。</p> <p>① 自立心ともいべき「自ら考え、主体的に判断し、行動」する能力を育成するために、学校現場ではどのような取り組みがされているのか伺います。</p> <p>② 危機に直面した時あるいは選択を迫られた時、「自ら考え、主体的に判断し、行動」を適切に行うには、知識の習得や人間性の涵養と併せて、平常時における体験や訓練を通じて体得する必要があります。「自ら考え、主体的に判断し、行動」する能力を育てるための体験学習はどのように行われているのか伺います。</p>	<p>教育長</p>

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年5月31日

大山町議会議長 米本隆記 様

議席番号 10番 大山町議会議員 大森 正 治



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. ごみ処理の基本的なあり方を問う</p> <p>今年3月に「大山町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」が初めて発表された。しかし、その中には、最新の知見である「プラスチック資源循環促進法」を踏まえた内容になっていない箇所がある。具体的には、軟質プラスチックを現状のまま可燃ごみにしている点である。これは、ごみ問題の基本である3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）に反するごみ処理である。西部市町村で軟質プラスチックを可燃ごみにしているのは、米子市と大山町だけであるとのこと。これは改めるべきであると考えます。</p> <p>また、去年8月に発表された西部広域行政の「一般廃棄物処理施設整備基本構想」は、最終処分場までの諸施設を一カ所に集積し、硬質プラスチックも燃やしてごみ発電を行うものである。しかし、これは脱炭素社会に逆行するものであり、4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」にそぐわないものである。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本町で、軟質プラスチックを可燃ごみに変更したのはいつからで、その理由は何か。</p> <p>(2) 軟質プラスチックは可燃ごみではなく資源ごみに位置付けるよう「大山町一般廃棄物処理基本計画」を見直すべきではないか。</p> <p>(3) 広域ごみ処理施設整備基本構想は、「プラスチック資源循環促進法」にそぐわないものであり、見直すよう広域行政管理組合へ進言すべきではないか。</p>	<p>町長</p>



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 通学定期券補助の拡充を</p> <p>竹口町政の子育て支援策の一つとして実施している高校等通学定期券購入補助は、当該保護者に歓迎されている事業である。</p> <p>しかし、その対象者は同居する「高校生等」の保護者とあるが、「等」の中には中学生は含まれていない。ところが、大山町の中学生の中には、米子市など町外の中学校に通学している生徒がおり、補助金の対象者にはなっていない。これは本事業に瑕疵があると考えられるので、早急に制度改善をする必要がある。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 町外の中学校に通学している生徒は、現在何人いるか。</p> <p>(1) 高校等通学定期券購入補助金交付要綱には、対象者が高校生等の保護者に限られており、中学生の保護者は対象になっていない。中学生を想定しなかった理由は何か。</p> <p>(3) 子育て支援策という目的から、当然、中学生の保護者も対象にすべきと考えるがどうか。</p>	町長

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年5月31日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 2番 大山町議会議員 西本 憲人 印

**一 般 質 問 通 告 書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 空き家の問題は解決するのか</p> <p>空き家が増えています。</p> <p>本質的な問題点をどう認識しているか。</p> <p>また本町は解決に向けての行動をとっているのか。</p> <p>① 把握している空き家数は</p> <p>② 空き家バンク登録数は</p> <p>③ 登録数の中で入居可能な物件数、賃貸・売買物件の割合と件数</p> <p>④ 空き家問題は解決に向かっているか</p> <p>⑤ 今後の対策・方向性は</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年6月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号13番 大山町議会議員 吉原 美智恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 大山町の防災対策は</p> <p>大雨への警戒が必要な季節を迎えた。</p> <p>近年の異常気象による「線状降水帯」の発生は豪雨災害の原因で、同じ場所に雨を降らせ続けることで、多数の犠牲者を出している。2018年7月の西日本豪雨でも記憶に新しいところであり、本町でも、災害リスクは大きく、対策は重要である。</p> <p>①日頃の備えと避難時の対応は ②町民の方への防災への備えの周知は ③自主防災組織の活性化は ④気象情報や予報の有効活用は</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年6月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

12番 大山町議会議員 近藤 大介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 芝の生産振興について</p> <p>大山町は、芝の生産もさかんである。</p> <p>1) 芝生産の現状と課題は。また、生産量、生産額などの状況は。</p> <p>2) 芝の生産振興のために、町としてどのような支援を行っているか。また、今後どのような施策を考えているか。</p> <p>3) 町内の小中学校のグラウンドを今後芝生化していくにあたって、町内産芝を活用していく考えは。また、生産地の芝グラウンドとして、生産者や保護者をはじめ、町民が誇れるようなものにしていく必要があると思うが、町長・教育長の考えは。</p>	<p>1)、2) 町長</p> <p>3) 町長・教育長</p>
<p>2. 海水浴環境の整備について</p> <p>1) 木料海岸など海水浴の楽しめるスポットを観光資源としてどのように評価しているか。町民や観光客のレジャースポットとして、町内のビーチの現状と課題について、どのように考えているか。</p> <p>2) シャワーや更衣室など、木料海岸利用者の利便性を高める整備の考えは。</p> <p>同様に、西坪下坪の海岸について、トイレやシャワー、更衣室などを整備してはどうか。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 窓口業務のあり方について</p> <p>1) 住民課、各支所総合窓口室の窓口業務について、行財政改革の一環として、民間委託を検討してはどうか。</p> <p>2) 本町の窓口業務について、担当職員が女性職員に固定化されている印象を受ける。(直近5年間の男女比など) 実態はどうか。町職員のキャリア形成の上で、男女間で差別的な扱いになっていないか。</p>	<p>町長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年5月31日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 島田一恵 印



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 婚活支援について</p> <p>鳥取県は昨年度の結婚支援事業の結果、未婚者同士が登録してプロフィールを閲覧する有料会員制のマッチングシステム「えんトリー」と、昨年より仲介制の「えんトリー・ナコード」の2事業で過去最多36組の成婚に至った。</p> <p>県子育て王国課は、婚活支援事業の取り組みにも力を入れているが、本町の婚活支援についてお伺いします。</p> <p>① 婚活サポートセンター「えんトリー」「えんトリー・ナコード」の大山町民の令和3年度末での男性、女性の会員数はどのくらいか。</p> <p>② 令和4年度3月末までの1年間でお見合いの数と成立数はどのくらいか。</p> <p>③ 婚活支援を行う民間企業又は団体に対して支援を行う考えはないか。</p> <p>④ 結婚定住を促進する為に結婚・子ども誕生に向けて祝い金の支給はないか。</p>	<p>町長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年6月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 3番 大山町議会議員

豊 哲也



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>① 有機農地の先進的な取り組みについて</p> <p>現在、一般的な農薬を使った慣行農業が約99%ほどを占めている中で、化学物質過敏症などの症状を持たれる方や、少し値段が高くても子供達などへの野菜は農薬の少ないものをと考えている人たちも年々増えてきており、減農薬無農薬の農作物に注目が集まっている。農林水産省も「みどりの食料システム戦略」を打ち出し、2050年までに有機農地を今の約1%から25%に引き上げる方針を打ち出している。</p> <p>有機栽培、自然栽培などは元々肥沃な土地でないと難しい面もあるが大山周辺は好条件で、実際に取り組んでいる方々が他の自治体より多い。</p> <p>新たな需要で今の農業担い手問題を解決するという点でも、有機農業をやりたいと移住を考えている人を呼び込むという点でも、今、他の自治体に先んじて検討することは有効だと思われる。</p> <p>そうした背景の中で、本町の考え、現状の取り組みを問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機栽培、自然栽培等で新規就農されている移住者はいるか。 2. 特定栽培、有機栽培の商品に特化した販売所を設置ないか。 3. 有機農地の中長期の展望を計画し、農林水産省が提唱するオーガニックビレッジの宣言を本町でもしていかないか。 4. こどもたちの食の安全を考える意味でも有機栽培等の需要の安定化のためにも、オーガニック給食へ段階的に検討していかないか。 	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p data-bbox="193 219 852 257">② 本町の食糧不足など災害への備えは</p> <p data-bbox="193 338 1334 490">現在、ウクライナへの侵攻等もあり、様々な物価の上昇が起こり、肥料や農薬なども高騰している。それに伴い、農業を継続することが、全世界的にも難しくなってきており、食糧不足が懸念されている。</p> <p data-bbox="209 512 1032 551">そうした特殊な状況下での本町の災害対策について問う。</p> <ol data-bbox="193 692 1334 1252" style="list-style-type: none"> 1. 何らかの理由で、輸入が制限され、食糧が入って来なくなった時に、食料自給率の低い日本では食糧不足になる可能性が高いが、本町では具体的な食糧備蓄を町民に促しているか。また本町でも食料備蓄をしているか。 2. 本町でも地区防災計画が組まれているが、戦争での侵略行為など有事への対応は考慮されているか。 3. 海外からの肥料・農薬が現在高騰していて、今後、慣行栽培の継続が難しくなってくるのではと警鐘を鳴らす農家が全国的にいるが、本町では対応が検討されているか。 	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年6月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 14番 大山町議会議員 岡田 聡



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 小・中学校教育の向上は</p> <p>令和4年度から、県内市町村に先駆けて町内小・中学校の全学年30人学級を導入された。非常に先進的であり、教育環境の一層の向上に寄与する制度であると考えます。少人数学級のメリットを最大限に生かしながら、児童・生徒の個々の能力や長所を大きく成長させることが望まれます。</p> <p>そのためには、余裕を持った教師の配置が不可欠と考えます。十分に教員の配置をしながら、かけがえのない児童・生徒たちの心身共に健やかな成長、そして学力向上を促していき、次世代を生き抜く力を育てていくべきと考えます。</p> <p>(1) メリットをどう考えているか。デメリットはないか。</p> <p>(2) 全国学力・学習状況調査で、県内の児童の学力が低下傾向にあるということから、県と市町村が共同で学力向上プログラムに取り組むようですが、どのような形になるのか。町内の児童・生徒の状況はどうか。</p> <p>(3) 加配教員の確保は確実に出来ているか。また、特別支援学級の教員や育休代替教員の確保はどうか。</p> <p>(4) 個別に最適な学びの提供も必要だが、対応は。</p> <p>(5) 全国体力テストでは、県内小学生は「低下」中学生は「好成績」という結果のようだが、対応は。</p> <p>以上質します。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 高齢者福祉の一層の向上や支援の拡充を</p> <p>人口減少にブレーキを掛けるべく子育て支援はますます充実させているようだが、これまでの社会を支えて来られた高齢者の福祉向上や高齢者支援の充実が求められています。住み慣れた地域で生き生きと幸せな老後を過ごせることが大切と思います。</p> <p>(1) 健康寿命を延ばす取組みが更に必要だが、認識はどうか。</p> <p>(2) 生き甲斐づくりや、地域で支える仕組み作り。また、高齢者のするスポーツの推進も効果があるが親しんでいただく取組みはしないか。</p> <p>(3) 日常の生活の質向上も大切だが、フレイル予防と併せて対策は。</p> <p>(4) デジタル化がどんどん進展していく中で、少しでもデジタルに慣れ生かせるために支援が必要だが。</p> <p>(5) 認知症になっても地域で安心して暮らせるように、地域で支え合えるような仕組みは出来ないか。</p> <p>(6) 認知症への理解を深めるには、小・中学校での教育が重要と考えるがどうか。</p> <p>以上質します。</p>	<p>町長 教育長</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年6月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 8番 大山町議会議員 大原 広巳



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 防災対策について</p> <p>①災害時要支援者の情報の確認は万全か。 自主防災組織のない自治会などはどうしているか。</p> <p>②避難所開設時には女性目線の対応が必要である。体制は整っているか。</p> <p>③旧保育所なども避難所に追加してほしいが。地域自主組織の拠点となったので。</p> <p>④避難警戒レベルの変更から1年が経過したが、梅雨時を前に、あらためて広報すべきでは。</p> <p>⑤ドクターヘリの発着場の認定はどこか。条件がついているのか。災害ヘリの場合はどうか。</p>	町長
<p>2. 燃料高・肥料高について</p> <p>①農業・水産業において、高止まりしている原油高の影響が出ている。町として燃料の支援はできないか。</p> <p>②肥料高も国際情勢が悪化する中、秋にも値上る見込みである。農薬や輸送コストなども同様である。 農協や漁協と連携して、県や国に支援を要請するべきと思うが。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

令和4年6月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 1番 大山町議会議員 小谷 英介 印



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1) 海の拠点整備について</p> <p>6月補正予算で「海の拠点整備」の補正予算が提案されている。</p> <p>具体的には、「海側での観光客滞在時間の延長および海と山とをつなぐ町内周遊観光の促進を図るため、御来屋漁港における既存サービスにより観光的な要素を付加し、海側観光の拠点であり大山寺エリアとの観光交流軸を構築する拠点となる施設整備に向けて、町内事業者と検討を行う」ため、約1,000万円の予算で業者に計画づくりを発注するという説明があった。</p> <p>この事業の可能性を考えるうえで、現時点における町長の考えを問う。</p> <p>① 拠点を整備することは、何を主目的として、具体的にどのような効果を狙うのか。</p> <p>② 山の拠点（案内所、ツアーデスク、大山参道市場など）は、大山登山や大山寺というメインの集客装置があることで成立しており、来訪者の満足度を上げる役割を担っている。海側ではどうやって集客するのか。海側の拠点の役割、位置づけは。</p> <p>③ 外部の委託業者と基本計画検討委員会（年4回）による推進体制では、実質的に、外部の委託業者任せの計画づくりになることを危惧している。町の若手職員や地域で活躍する専門家など多様な人材でワーキンググループを構成し、一般住民との意見交換も繰り返し実施しながら、丁寧な計画づくりを進められないか。</p>	<p>町長</p>



2) 観光施策の実証実験のやり方について

町長

本町では今年度、グリーンスローモビリティの来訪者満足度向上検証業務、大山町レンタサイクルシステム構築検証業務委託の2つの実証実験が予定されている。新たな事業へのチャレンジはどんどんやるべきだが、中途半端なやり方でチャレンジをすることは予算の無駄使いである。その観点から、以下について町長の考えを問う。

- ① レンタサイクルシステムの構築業務は、今年度は無償でのレンタサイクル、来年度が有償でのレンタサイクルの計画となっている。なぜそのようにしたのか。今年度、無償でレンタサイクルを実験する意義は何か。
- ② グリーンスローモビリティ構築検証業務は、有償か無償かは現段階で明示されていない。今年度、どうするのか。

以上

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。